



御田小 研究だより

平成28年12月17日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第4回研究授業報告

11月30日(水) 5校時 4年
授業者 三山 明子 井上 雅憲
高田 悠平 六本木 友樹

<算数> 単元名「広さを調べよう～面積のはかり方と表し方～」

<単元でねらっていること>

- 面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにするとともに、面積についての量感を豊かにする。

<本時のねらい>

- ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、説明することができる。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】



本時のねらいから授業の山場を決め、「めあて」を「どうすればこの図形の面積を求めることができるだろうか」と設定し、本時の流れを考えました。(焦点化)



図形を少しずつ見せることで、本時のめあてを明確にし、全員の参加意欲を高めることができました。(視覚化・共有化)



習熟度に合わせて授業を展開することで、面積の求め方についてより理解を深めることができました。(焦点化)



友達のワークシートを見て、自分と同じ考え、異なる考えに色別シールを貼ることで、自分の考えと比べることができました。(視覚化・共有化)



<授業を終えて>

習熟度に応じて、複合図形の面積の求め方について、自分の考えをトリオやグループで説明し合ったり、求め方を比べ合ったりしながら、理解を深めました。そして、長方形や正方形を基にして分けたり動かしたりすると、面積を求めることができることに気付きました。今後も、自分の考えをもち、相手に伝えたり比べたりしながら学び合う学習活動を工夫して、指導していきます。